

昨年は、8.11 豪雨で八代市は内水氾濫を各所で起こし、家屋の浸水や車の水没で大きな被害を受けたばかりでした。そんな中、平成 28 年熊本地震から 10 年目の 7 月 28 日の令和 8 年熊本地震と 2 度目の地震を体験した八代市。発災直ぐに家屋の倒壊、悪路、停電、断水、ガソリンスタンドの長蛇の列、普段のライフラインのありがたさが身にしみました。連日の猛暑は避難生活を過酷にしています。

乳幼児を育てている家族は、実家やご親戚を頼ったり、他県に帰省される方もおられました。市内の保育園は安全確認ができないため休園となり、現在も断水が続いているため、給食の提供ができず、午前中保育や弁当持参を余儀なくされています。断水が長期化するように再開の見通しが立っていません。

私たちが運営するこどもプラザも、イオン八代内の「わくわく」は、被害が大きくて立ち入りできません。マックスバリュの 2 階にある「すくすく」は、余震が続きますが、安全を確認できたので、発災一週間後に利用者支援相談だけをスタートしました。一人でも多くの方の声を聞きたい、スタッフ一丸となり、今できることを精一杯務めていこうと思います。現在コミュニティセンターが避難所になっており出張広場がまだできませんが、一日も早いひろば再開に向けて力を合わせて行きます。

これまでも支え合いの気持ちを大切に 19 年間子育て支援をして参りました。八代市の子育て親子の笑顔が一日も早く戻るように、皆様の応援をどうぞよろしくお願いします。

一般社団法人こども・子育てあいねっと八代

代表理事 澤井美香

2026.8.4